

# 地域連携推進センター ニュースレター 〈第67号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8732 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

## はじめに

### 平成28年度COC/COC+全国シンポジウム(予定)

毎年、高知大学主催によるCOC/COC+全国シンポジウムを開催しており、全国のCOCおよびCOC+実務者による情報共有および意見交換することで、全国の大学等による地域連携の底上げを図ることを目指しています。平成28年度の日程・場所・基調講演が決定しましたので、以下にてお知らせいたします。

日時: 平成29年3月6日(月)、7日(火)

場所: ザ クラウンパレス高知新阪急

基調講演: 株式会社小松製作所 相談役  
坂根 正弘 氏

詳細が決まりましたら、順次ホームページ等によりお知らせいたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



平成27年度開催の様子

## 目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 四国銀行・高知大学 連携会議

Topic2. 日本カツオ学会 会報誌第6巻第1号  
累計10号

p3 産学官民連携推進部門

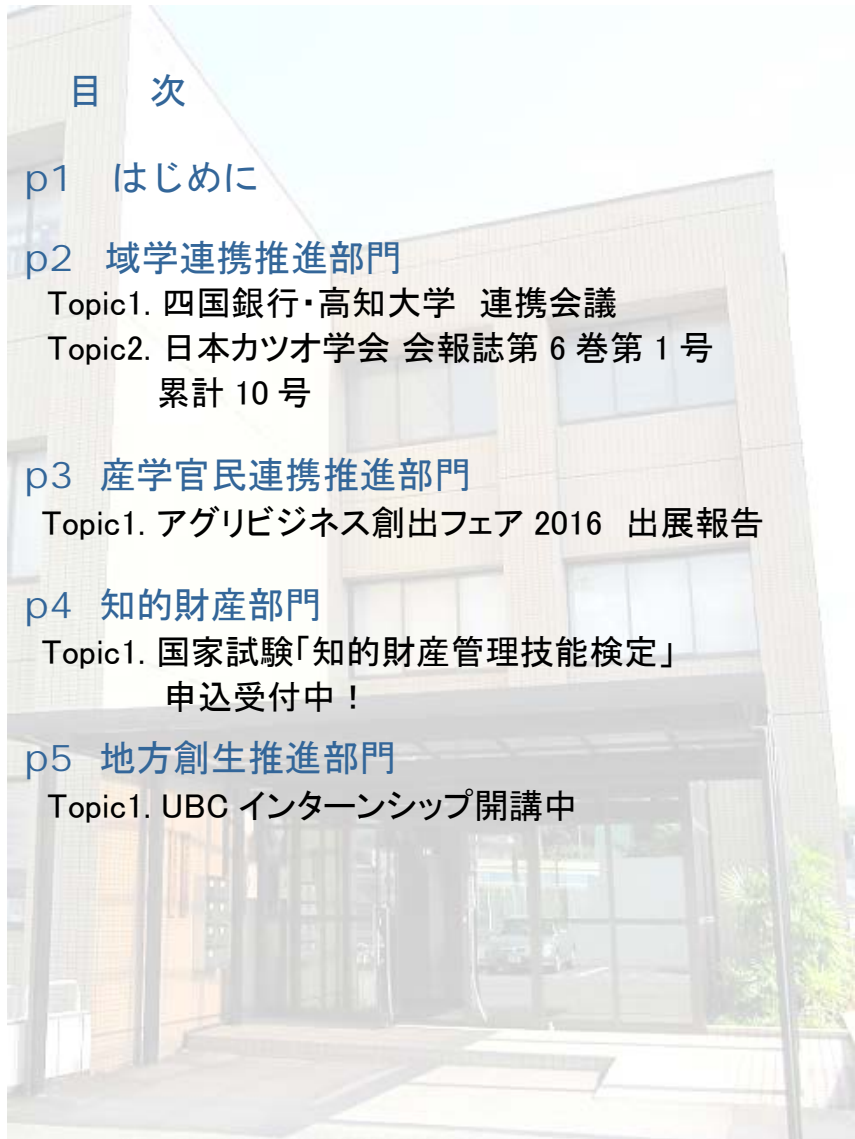
Topic1. アグリビジネス創出フェア2016 出展報告

p4 知的財産部門

Topic1. 国家試験「知的財産管理技能検定」  
申込受付中!

p5 地方創生推進部門

Topic1. UBC インターンシップ開講中



### Topic 1. 四国銀行・高知大学 連携会議

高知大学と四国銀行は、それぞれが保有する研究技術、情報およびノウハウ等を活用し、地域の発展と産業の振興に寄与することを目的として、相互に連携協力を行うための連携協定を締結しています。相互に情報共有を図るため、お互いの窓口機関である高知大学地域連携推進センターと四国銀行法人サポート部による連携会議を年1回程度開催しております。今年度は12月6日(火)に開催し、主に以下の内容について協議しました。

- ・学金連携を通じた産学連携
- ・文部科学省 COC+事業「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」
- ・クラウドファンディングを活用した地域おこし
- ・観光活性化ファンドを活用した地域活性化

今後お互いに連携を取りながら地域の発展と産業の振興に取り組んでまいります。

### Topic 2. 日本カツオ学会 会報誌第6巻第1号発送 累計10号

高知大学と黒潮町との連携により運営しております日本カツオ学会では、毎年会報誌を全国の会員向けに発行し、全国のカツオに関する情報発信と学会活動の共有を図っております。これまでに累計10号の会報誌を発行いたしました。10号目となる第6巻第1号を12月始めに全国の会員宛に発送いたしました。今号の内容は主に以下になります。

- ・日本カツオ学会平成28年度通常総会
- ・平成28年度カツオセミナー&フォーラム 開催報告

この会報誌は、高知大学と黒潮町が連携して運営している日本カツオ学会の機関誌です。本会報誌は、カツオ資源の持続可能な利用と管理に関する最新の研究成果や、産学連携の取り組みについて、産業界、学術界、行政関係者など幅広い関係者に向けて発信しています。今年度は、カツオ資源の持続可能な利用と管理に関する最新の研究成果や、産学連携の取り組みについて、産業界、学術界、行政関係者など幅広い関係者に向けて発信しています。

日本カツオ学会では今後も様々な情報を会報誌として全国へ発信します。会報誌は学会員のみへの提供となりますので、ご興味ご関心ございましたら学会への加入を是非ともお願い申し上げます。

日本カツオ学会ホームページ  
(<http://www.katsuo-gakkai.jp/>)

産学連携の推進は、持続可能な資源管理の鍵となる。本会報誌は、産業界と学術界の連携を促進し、最新の研究成果や、産学連携の取り組みについて、産業界、学術界、行政関係者など幅広い関係者に向けて発信しています。今年度は、カツオ資源の持続可能な利用と管理に関する最新の研究成果や、産学連携の取り組みについて、産業界、学術界、行政関係者など幅広い関係者に向けて発信しています。

## Topic 1. アグリビジネス創出フェア 2016 出展報告

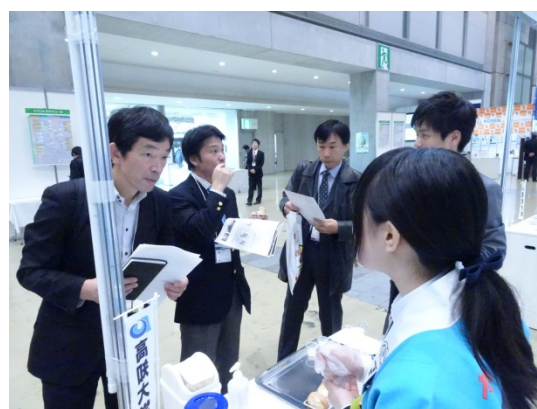
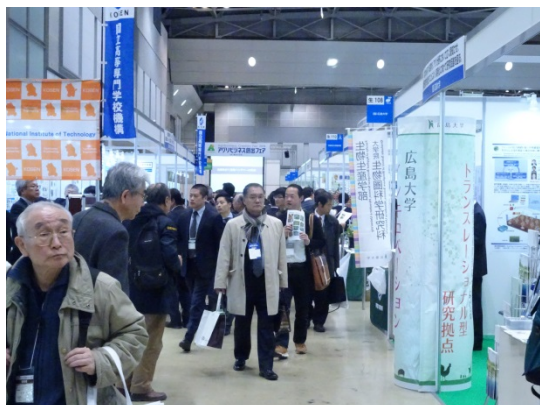
12月14日(水)から16日(金)の間、東京ビッグサイトにおいて、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関間および研究機関と事業者との連携を促す場として『アグリビジネス創出フェア 2016』が開催されました。3日間で約3万7千人の来場者があり、大学、民間企業、都道府県の試験場、独立行政法人等、全国141機関から最新の技術の展示が行われました。

本学からは、農林海洋科学部の「永田 信治 教授、市浦 英明 准教授、松川 和嗣 准教授」が、それぞれの研究内容や地域貢献における成果などを紹介、また、当センターの知的財産部門から農林海洋科学部「西村 安代 准教授」、総合研究センター海洋部門「平岡 雅規 准教授」の研究シーズを紹介しました。

今年も本学ブースにて、松川准教授の研究紹介に関連した「土佐あかうし」の試食を実施しました。今年度の試食は、「土佐あかうし」と「輸入牛肉」を食べ比べてもらい、その比較についてアンケート調査を実施し、今後の肉質などの改善に活かせるような内容にしました。また、試食と同時に、ゆずを「土佐あかうし」に食べさせた効果や、あかうし自体の希少性についても紹介しました。

永田教授の研究紹介については、黒酵母由来のβグルカンを練り込んだロールケーキの試食を実施。その機能性などについて説明を行い、多くの来場者に好評をいただきました。

市浦准教授の研究紹介については、紙に特殊なコーティングを施すことにより水に溶けにくくする技術や、コーティング時に同時に練り込む試薬で不純物を除去する技術など、実物を展示して紹介し、多くの企業の方が関心示していました。



## Topic 1. 国家試験「知的財産管理技能検定」 申込受付中！

「知的財産管理技能検定」は、企業・団体・官公庁等で求められる知的財産についての技能およびこれに関する知識の程度を測る国家試験です。

「知的財産管理技能検定」を推奨している企業も数多くあり、知的財産に関する知識と技能を身に付けた人材は、メーカーをはじめ情報通信業等幅広い業界で必要とされ、知的財産部や法務部のみならずあらゆる分野で活躍しています。

知的財産に関する業務に関心がある方や、卒業後の進路を様々検討中の学生の方には、本国家資格を取得することが更に一つの強みとなり、キャリアアップにつながると思われます。

詳細は知的財産教育協会ホームページ <http://www.kentei-info-ip-edu.org/> をご覧ください。



第 26 回 知的財産管理技能検定

試験日：平成 29 年 3 月 12 日(日)

申込受付期限：平成 29 年 2 月 2 日(木)

試験実施地区：北海道、宮城、茨城、東京、神奈川、石川、長野、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、香川、福岡

実施試験種：1級、2級、3級

今後の実施予定：第 27 回 平成 29 年 7 月 9 日(日)

(以下、知的財産教育協会ホームページより転記)

### 1級(特許専門業務)

知的財産分野のうち、特に特許に関する専門的な能力がある。

具体的には、企業等において、特許に関する戦略、法務、リスクマネジメント、情報・調査、国内権利化、外国権利化、契約、エンフォースメント(権利行使)、価値評価・資金調達に関する深い専門的知識を有し、業務上の課題の発見と解決を主導することができる技能があると認められます。

### 1級(コンテンツ専門業務)

知的財産分野のうち、特にコンテンツに関する専門的な能力がある。

具体的には、ビジネスを行うコンテンツプロデューサーやライツ担当者、契約法務担当者等、事業サイドと契約法務サイドの両方のスキルを持つ「コンテンツビジネス専門人材」として、企業等において、リスクマネジメント、契約、エンフォースメント、資金調達、価値評価、関係法規、コンテンツに関する業務(コンテンツ開発戦略・創造支援・保護・関係法規等)について深い専門的知識を有し、業務上の課題の発見と解決を主導することができる技能があると認められます。

### 1級(ブランド専門業務)

知的財産分野のうち、特にブランドに関する専門的な能力がある。

具体的には、企業等におけるブランド・マネージャー、商標・意匠グループ責任者、広報・宣伝部門責任者、マーケティング・マネージャー、経営企画担当者等「ブランドマネジメント専門人材」として、国内外におけるブランドに関する権利取得手続やライセンス・模倣品対策等について深い専門的知識を有し、業務上の課題の発見と解決を主導することができる技能があると認められます。

### 2級

知的財産分野全般(特許、商標、著作権等)について、基本的な管理能力がある。

具体的には、企業・団体等において知的財産に関する戦略、法務、リスクマネジメント、調査、ブランド保護、技術保護、コンテンツ保護、デザイン保護、契約、エンフォースメント(権利行使)に関する幅広い基本的知識を有し、業務上の課題を発見し、一部は自律的に解決できる技能があると認められます。

### 3級

知的財産分野について、初歩的な管理能力がある。

具体的には、企業・団体(学校・官公庁等)において知的財産分野の特にブランド保護、技術保護、コンテンツ保護、デザイン保護、契約、エンフォースメント(権利行使)に関する初歩的知識を有し、それに関する課題を発見することができ、一定条件下ではその課題の解決までできる技能があると認められます。

# Topic 1. UBC インターンシップ開講中

「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」で整備している教育プログラム「地方創生推進士育成科目」(準正課)の一つ「UBC インターンシップ」では、4名のUBC(高知大学地域コーディネーター: University Block Coordinator)の指導のもと、学生がプログラムを受講しています。

「UBC インターンシップ」は、地域の課題解決に向けて大学・地域・自治体等の関係機関を“コーディネート”するUBCの活動を体験するインターンシッププログラムです。地域の実情に触れ、課題を認識し解決のための方策を考えることを目指しており、受講する学生は、現在 UBC が向き合っている地域課題に基づいて設定されたテーマに UBC とともに取り組み、UBC の視点から実体験を通じて学びます。

## 【プログラム例】

### ● 「広域観光振興の課題に挑む」

UBC が担当する地域での観光に関する会議や打合せに同行同席し、学生との関わり方、DMO の取組、観光人材育成などをテーマにした議論を聞いて学びます。

### ● 「クラウドファンディング・プロジェクト立ち上げの一人になる」

クラウドファンディングの概要を学んだうえで、嶺北地域でのプロジェクト打合せに同席し、ツリーハウスづくりにも参加します。

### ● 「森林鉄道の『日本遺産』申請の舞台裏を体験する」

日本遺産申請に向けたストーリー案の協議に同席し、森林鉄道があった中芸地域を訪ね、一つの案が決定するプロセスを現場で経験します。

### ● 「母子手帳アプリの認知度を高める」

須崎市の母子手帳アプリ開発を通じて、どのような工夫をすればサイト来客数が増えるのか学び、社会で活かせる知識を身につけるべく、担当 UBC の指導を受けます。

受講した学生は、UBC の活動を通じて地域を体験するとともに、大学と地域をつなぐコーディネーターの役割の大きさを実感しています。

今後も、地域に定着して貢献することの意義を自分事として捉えることのできる人材の育成を目指して、テーマを追加・更新しながらプログラムを充実させていきます。

※「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」では、このほかにも地方創生推進士育成科目(準正課)を整備しています。詳しくは、ホームページ(<http://www.kochi-cocplus.jp/>)をご覧ください。



## UBC インターンシップ 参加者募集

# 地域と向き合う 仕事を知る!

UBC インターンシップとは  
 高知大学には、高知県の多種多様な課題と直に向き合い、地域ニーズと大学シーズを結び解決に向けて取り組む「UBC(高知大学地域コーディネーター: University Block Coordinator)」と呼ばれる4名の教員がいます。  
 UBC インターンシップは地域の課題に向き合い、その解決に向けて大学・地域・自治体等の関係機関を“コーディネート”するUBCの活動を体験するプログラムです。  
 本プログラムは「地方創生推進士」の育成科目(4\* Phase「地域を“体験する”」)に位置づけられた準正課科目です。



OKAMURA 西村 雅宏【南予地域/高知地域担当】



OSAKI 大崎 雄【高知市地域/仁淀川地域担当】



AKAIKE 赤池 貴徳【安藝地域/輪部川地域担当】



KAJI 鏡 英樹【薩川地域担当】

### 『地方創生推進士』とは

高知県は、少子高齢社会、経済規模の縮小、中山間地域の過疎化の進展など多様な地域課題に直面しています。その解決に向けた取り組みの一つとして、高知大学をはじめとする県内高等教育機関では地域の生活や文化、産業を担い、発展させていく革新力を持った人材を育成すべく教育プログラムを整備しています。そして、一連の教育課程を卒業し、地域への理解と愛情を深めたいという志を持った学生を「地方創生推進士」として認定します。

### 平成28年度 UBC インターンシップのテーマ

<h4>森林鉄道の『日本遺産』申請の舞台裏を体験する!</h4> <p>こんな学習にオススメです! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県と地域振興の歴史を学ぶ機会!</li> <li>・地域を活性化させる多様なプロジェクトの事例を学ぶ機会!</li> <li>・ストーリー性のある観光のプランニングが面白い!</li> </ul>	<h4>広域観光振興の課題に挑む!</h4> <p>こんな学習にオススメです! (担当: 大崎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地としての魅力を学ぶ機会!</li> <li>・観光振興に貢献できる学生!</li> </ul>	<h4>新規事業の立ち上げ過程を学ぶ!</h4> <p>こんな学習にオススメです! (担当: 大崎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地としての魅力を学ぶ機会!</li> <li>・大崎での課題解決を学ぶ機会!</li> </ul>
<h4>中山間地域における教育支援ビジネスモデル構築に関わる!</h4> <p>学べる・経験できる! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域における教育支援の現状と課題を学ぶ機会が得られる。</li> <li>・コーディネーション業務を体験できる機会が得られる。</li> </ul>	<h4>クラウドファンディング・プロジェクト立ち上げの一人になる!</h4> <p>学べる・経験できる! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングの現状と課題を学ぶ機会が得られる。</li> <li>・コーディネーション業務を体験できる機会が得られる。</li> </ul>	<h4>シソを使った商品開発とビジネス立ち上げにチャレンジ!</h4> <p>学べる・経験できる! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の価値の向上と課題を学ぶ機会が得られる。</li> <li>・コーディネーション業務を体験できる機会が得られる。</li> <li>・「シェアリングビジネス」を学ぶ、実践的な経験ができる。</li> </ul>
<h4>四十町の未来を担う人材育成について考える!</h4> <p>学べる・経験できる! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四十町における現状と課題を学ぶ機会が得られる。</li> <li>・地域振興への期待と課題に向き合い、地域に貢献できる人材を育てる機会が得られる。</li> </ul>	<h4>黒瀬町だからできる、ふるさと納税企画について考える!</h4> <p>学べる・経験できる! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税の現状と課題を学ぶ機会が得られる。</li> <li>・ふるさと納税について学びを得られる。</li> <li>・企画のPDCAを学ぶ機会が得られる。</li> </ul>	<h4>地方創生にwebをどう使う? 黒瀬町公式サイトについて考える!</h4> <p>こんな学習にオススメです! (担当: 西村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・webサイトの現状と課題を学ぶ機会が得られる。</li> <li>・地域振興のためにwebをどう使うかを学ぶ機会が得られる。</li> </ul>

UBC インターンシップの目的、趣旨、申し込み時期、募集、体験するUBCの紹介、UBCとの関わり方、プログラムの概要についてはこちらのパンフレットをダウンロードしてください。お問い合わせ先は、本ページの「お問い合わせ先」をご覧ください。お問い合わせ先: 地方創生推進部門 企画課 担当: 西村 雅宏 電話: 0858-844-9332 E-mail: cobo@kochi-u.ac.jp

【お問い合わせ先】 コラボ(コラボレーション・サポート・パーク) TEL: 0858-844-9332 E-mail: cobo@kochi-u.ac.jp

【UBC インターンシップについて詳しくは】 「地」の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) 「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」 <http://www.kochi-cocplus.jp/>